

製品名: NFκB-p100 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14666**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000,IP 1:20-1:50
分子量	

抗原情報

遺伝子名	NFKB2 NFKB2; LYT10; Nuclear factor NF-kappa-B p100 subunit; DNA-binding factor KBF2; H2TF1;
別名	Lymphocyte translocation chromosome 10 protein; Nuclear factor of kappa light polypeptide gene enhancer in B-cells 2; Oncogene Lyt-10; Lyt10
遺伝子 ID	4791.0
SwissProt ID	Q00653
免疫原	抗血清はヒト NF-κB p100/p52 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 833-882

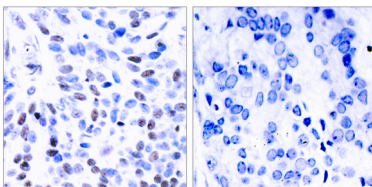
背景

この遺伝子は、転写因子複合体である核因子 κ B (NF κ B) のサブユニットをコードしています。NF κ B 複合体は多くの細胞種で発現しており、炎症や免疫機能に関わる遺伝子の中心的な活性化因子として機能します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、その二量体形成パートナーに応じて、転写活性化因子としても転写抑制因子としても機能します。p100 全長タンパク質は、翻訳時に p52 活性型に変換されます。この遺伝子座の染色体再編成および転座は B 細胞リンパ腫で観察されており、その一部は融合タンパク質の形成につながる可能性があります。この遺伝子の偽遺伝子は 18 番染色体上に存在します。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2013 年 12 月]疾患: B 細胞非ホジキンリンパ腫 (B-NHL) の症例で、NF κ B2 に関連する染色体異常が認められました。IGHA1 との転座 t(10;14)(q24;q32)。結果として生じるがん遺伝子は Lyt-10C α 変異体とも呼ばれる。疾患: 皮膚 T 細胞白血病 (C-TCL) 細胞株において、NF κ B2 に関連する染色体異常が発見された。この再編成により、短縮された 80 kDa タンパク質 (p80HT) をコードする p80HT 遺伝子が生成されます。疾患: B 細胞白血病 (B-CLL) 細胞株 LB40 および EB308 では、内部欠失などの異種染色体異常の後にこの遺伝子が見つかることがあります。ドメイン: p100 の C 末端は、細胞質保持、p52 ホモ二量体による DNA 結合の阻害、および/または転写活性化に関係している可能性があります。ドメイン: グリシンリッチ領域 (GRR) は、p52 の生成において重要な要素であると思われます。機能: NF- κ B は、ほぼすべての細胞タイプに存在する多面的転写因子であり、炎症、免疫、分化、細胞増殖、腫瘍形成、アポトーシスなどの多くの生物学的プロセスに関係しています。

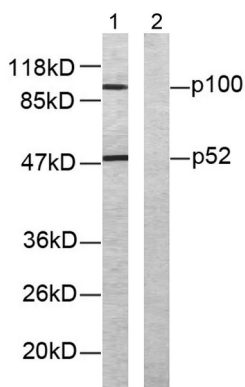
研究分野

B 細胞受容体; 幹細胞経路; MAPK_ERK_Growth; MAPK_G_Protein; PI3K/Akt; NF_ κ B; タンパク質アセチル化

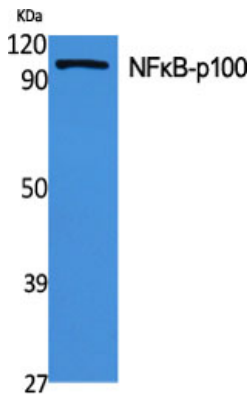
画像データ



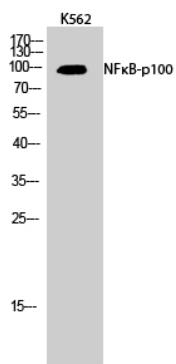
NF- κ B p100/p52 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



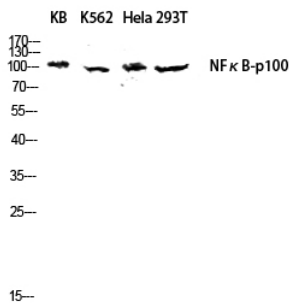
NF- κ B p100/p52 抗体を用いた卵巣癌細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



NFκB-p100 ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット解析した。



NFκB-p100 ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析



NFκB-p100 抗体を用いた KB K562 HeLa 293T 細胞溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈した。